

松本深志高卒業生

オーケストラ練習

来月8日演奏会

松本深志高校（松本市）音楽部室内楽班の卒業生を中心につくる「志音会オーケストラ」が4月8日、第4回演奏会を松本市水汲の県松本文化会館で開く。現役生を含む県内外の約80人が出演。卒業生のピアノスト、臼井文代さんをソリストに迎えるベートーベンのピアノ協奏曲第3番など3曲を披露する。11日は臼井さんを迎え、50人余が同館で練習した。

メンバーは、指揮者から「真つすぐアーチを描くような感

じで」などと指導を受けながら音を合わせた。目標にしてきたブラームスの交響曲第1



4月の演奏会に向けて練習する志音会オーケストラのメンバー

番も披露する予定で、オーケストラ代表、等々力康友さん（66）は「東京都、1963年卒業生は「パワーのあるいいブラームスを演奏したい」と張り切っていた。

8年前に結成し、東京都や松本市で毎月練習。吹奏楽部の卒業生の応援も得ている。

今回は、東日本大震災の被災者へ鎮魂と希望の意を込めて、バッハの管弦楽組曲第3番より「アリア」「ガヴオット」も披露する。午後3時半開演。一般千円、高校生以下500円。問い合わせは同オーケストラ（☎090・7280・6388）へ。